

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



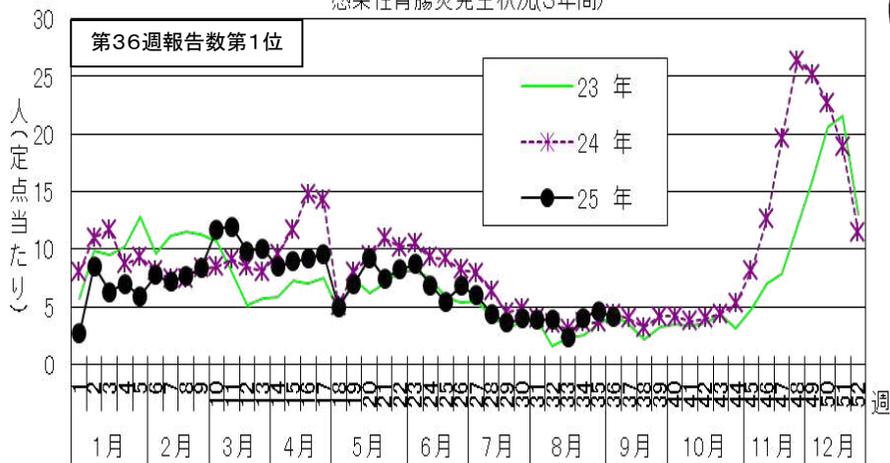
KAWASAKI CITY



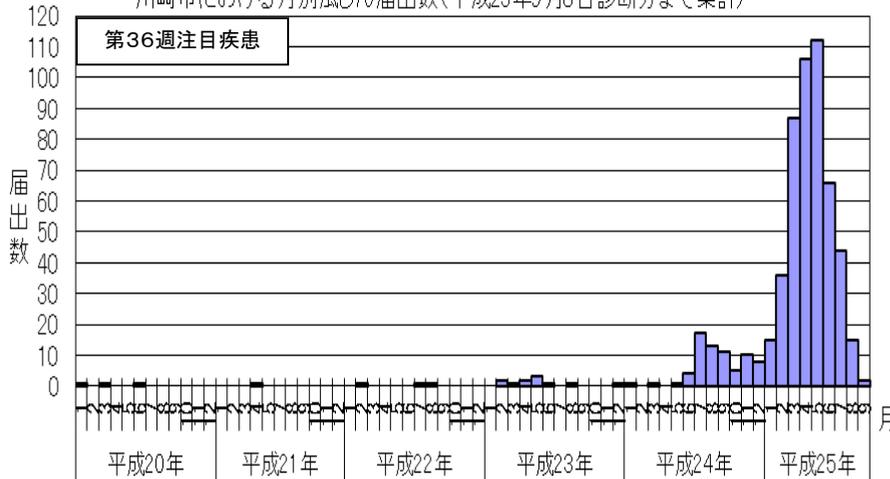
平成25年9月2日（月）～9月8日（日）〔平成25年第36週〕の感染症発生状況

第36週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) ヘルパンギーナ でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり4.12人と前週（4.61）より患者報告数は減少し、例年よりやや高いレベルで推移しています。
 手足口病は定点当たり3.30人と前週（3.91）より報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。
 腸管出血性大腸菌感染症の届出が4件ありました。引き続き発生動向に注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年9月8日診断分まで集計)



感染症の基礎知識～慢性疾患がある方は特に注意～

インフルエンザをはじめとする多くの感染症は、慢性疾患を持つ方がかかると、通常よりも重症化のリスクが高いといわれています。

ぜん息、糖尿病、心臓病など、慢性の病気をお持ちの方は、主治医とよく相談し、流行期の前に体調を管理しておきましょう。

何よりも「予防」が大切！！

- ①うがいと手洗い
- ②咳エチケット
- ③人ごみを避ける
- ④十分な睡眠



予防接種を効果的に活用しよう！！

インフルエンザなどの感染症は、予防接種を受けることで感染を予防したり、症状を軽減することができます。流行期の前に、早めの接種を検討しましょう。

